

集中講義

ヨーロッパ経済特論： 今ヨーロッパでは何を学んでいるか

《対象学生》

KUPES所属学生・IFEK所属学生(他学部生含む)
KUPES・IFEK所属申込の1年生(他学部生含む)

《開講日》

2016年1月6日(水)	4・5限	担当:奥西先生
1月7日(木)	4限	担当:Lecaillon先生
	5限	担当:奥西先生
1月8日(金)	3・4限	担当:Lecaillon先生
	5限	担当:奥西先生



Prof. Jean-Didier Lecaillon
(パリ第2大学)

《講義教室》

本館324教室

《担当教員》

Jean-Didier Lecaillon教授: パリ第2(パンティオン・アサス)大学
奥西 孝至教授: 神戸大学経済学部

《講義について》

パリ第2(パンティオン・アサス)大学は法学と経済学を専門とする800年の歴史を持つ伝統のある大学です。

Jean-Didier Lecaillon教授は労働経済学を中心に広くフランス、ヨーロッパの経済分析をされており、神戸大学との関係も深くこれまでも神戸大学にて講義もしていただいています。

今回は、国際プログラム(KUPES,IFEK)で学んでいる学生を対象に、日本語による事前、事後授業と組み合わせて、ヨーロッパで教えておられる経済学的分析の手法、労働、公害の問題をテーマに授業をしていただきます。

《履修登録期間》

12月10日(木)~12月24日(木)

《履修登録方法》

経済学部教務係カウンターの名簿にて受付。

